

## 北海道環境基本計画〔第3次計画〕の策定について

### 1 これまでの検討の経過

(1) 親会①（令和元年（2019年）5月8日）

- ・次期計画策定の進め方とスケジュール
- ・北海道を取り巻く環境や社会の状況
- ・次期計画の基本的な方向性

(2) 親会②（令和元年（2019年）11月20日）

- ・社会・経済・環境の状況
- ・論点整理（長期目標（将来像）及び計画期間、国の第5次環境基本計画との整合、SDGsとの関係）

(3) 企画部会①（令和元年（2019年）12月24日）

- ・論点整理（長期目標（将来像）、SDGsとの関係、地域循環共生圏）

(4) 企画部会②（令和2年（2020年）1月23日）

- ・論点整理（構成、将来像（長期目標）・見据える時期）

(5) 親会③（令和2年（2020年）2月21日）

- ・論点整理（構成、将来像（長期目標）・見据える時期）
- ・企画部会における主な意見

（6）企画部会③（令和2年（2020年）5月29日～6月5日、書面開催）

- ・論点整理、前回親会での意見等
- ・計画骨子案
- ・策定スケジュール

（7）企画部会④（令和2年（2020年）7月22日、オンライン開催）

- ・論点整理、前回企画部会での意見等
- ・計画骨子案
- ・計画原案

## 2 策定のポイント

現行計画の主な構成	次期計画の主な構成（案）	変更点
第1章 総論 ○計画の位置付け ○計画期間 ○社会経済や環境等の状況  ○将来像（長期目標）	第1章 総論 ○計画の位置付け ○計画期間 ○社会経済や環境等の状況 ○ <u>課題認識</u> ○将来像（長期目標）	←①新たに記述
第2章 施策の展開 （施策の基本的事項）  ○分野別施策の展開 ・ <u>めざす姿</u> <u>（計画期間の終期）</u> ・現状と課題 ・ <u>分野別目標</u> ・指標群 ・各主体の取組方向 ・道の施策 ○ <u>重点的に取り組む事項</u>	第2章 施策の展開 （施策の基本的事項） ○ <u>環境・経済・社会の統合的 向上に向けた考え方</u> ○ <u>分野横断の取組</u> ○分野別施策の展開 ・ <u>めざす姿</u> <u>（将来像の再掲）</u> ・現状と課題 ・ <u>施策の基本的な方向性</u> ・指標群 ・各主体の取組方向 ・道の施策	←②新たに記述 ←③新たに項目立て ←④短期間にめざす姿ではなく、将来像を分野ごとに整理し、再掲 ←⑤目標ではなく、将来像に向けた基本的な方向性を記載 ←⑥重点的に取り組む事項は、分野横断の取組又は分野別施策の中で提示
第3章 計画の推進 ○道民の意見の反映 ○点検・評価の実施	第3章 計画の推進 ○道民の意見の反映 ○点検・評価の実施	

## ＜変更理由＞

- ① 社会経済や環境等の状況を踏まえた課題認識についても記述する必要がある。
- ② 国の第5次環境基本計画においては、今後の環境政策の展開の基本的考え方として、「環境・経済・社会の統合的向上が強く求められている」、「SDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上の具体化を進めることが重要である」としている。これを踏まえ、「環境・経済・社会の統合的向上」と、その具体化に向けた取組として国が重点戦略に示している「地域循環共生圏」の創造について、本計画においても考え方を示す必要がある。

- ③ 経済システムのグリーン化（ESG投資等）や環境に配慮した人づくりなど、分野横断的な取組も重要と考え、分野別施策とは別に項目を設定する。
- ④ 現行計画の分野別の施策に示す「めざす姿」は、5年～10年後の計画終期の「めざす姿」を描いているが、将来像（長期目標）とオーバーラップするものも多いため、次期計画では、分野別の「めざす姿」は、基本計画全体の将来像（長期目標）と同時期とし、基本計画全体の将来像（長期目標）を分野ごとに切り分けて整理し、再掲する。
- ⑤ 現行計画の分野別目標は、どちらかといえば施策の基本的な方向性を示していることから、次期計画では、「目標」という言い方ではなく、将来像（長期目標）の実現に向けた施策の「基本的な方向性」として示す。  
 なお、数値目標については、各個別計画に委ねることとし、本基本計画では、上述の「基本的な方向性」を示すにとどめる（本基本計画策定時点での各個別計画の数値目標は、参考として掲載することを想定）。  
 また、施策の進捗状況を点検・評価するための「指標群」は、現行計画と同様に設定する。
- ⑥ 施策のメリハリや重要性のわかりやすさの観点からも、「重点的に取り組む事項」は引き続き必要と考えるが、現行計画のように再構築して再掲するよりは、分野横断の取組又は分野別施策の中で示すことで、位置づけがわかりやすくなり、進捗管理も効率化すると考えられる。

### 3 今後のスケジュール

令和2年9月	企画部会での審議
令和2年10月	親会での答申
令和2年11月～12月	パブリックコメントの実施
令和3年1月	親会での報告
令和3年3月	計画策定